

令和 8 年 9 月 14 日

荒川区長 滝口 学 様

自由民主党荒川区議会議員団

令和 8 年熊本地震及び千葉豪雨を受けての防災対策の強化に関する要望書

本年 7 月に発生した「令和 8 年熊本地震」に続き、8 月には「令和 8 年 8 月千葉豪雨」により全国で初めてレベル 5 大雨特別警報が発表され、多数の尊い人命が失われました。犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。地震、豪雨と大規模災害が相次ぐ中、荒川・隅田川に囲まれ低地を多く抱える本区も決して例外ではありません。

相次ぐ災害の報道により、区民の防災意識はかつてなく高まっております。この高まりを一過性のものとせず、具体的な行動と施策に結びつけることこそ、今このときにしかできない防災対策です。つきましては、区民の生命と財産を守るため、下記の事項を速やかに実施されるよう強く要望いたします。

記

1 家庭備蓄の再点検に関する意識改革をすること

令和 8 年熊本地震では、発災直後から水・食料・生活物資の確保が大きな課題となった。地震にも水害にも共通する備えの基本は各家庭の備蓄であることから、水・食料に加え、簡易トイレ、モバイルバッテリー等を含めた家庭備蓄の再点検を区民に緊急に呼びかけること。あわせて、区の備蓄倉庫を点検状況及び備蓄内容を 7 日間分とし、公表・公助の備えを区民に見える化すること。

2 真夏の災害対応への備えを備蓄品に加えること

昨今の災害級の真夏の暑さに対して避難所等で対応ができるよう設備や物品を準備すること。避難者へ注意喚起し、救助活動従事者・区職員に対する熱中症へ対策ができるようにフ

アン付きベスト等を備蓄品に加えること。

3 商業施設や工場等での LP ガス等の供給設備の調査と避難の徹底

イオンモール熊本での爆発事故・建物崩落で犠牲者が出たことから、同様の危険性のある区内の LP ガス等を使用している商業施設や工場、住宅の調査及び点検、注意喚起すること。また、一度屋外待避した避難者が安全確認が済むまでは、再び戻ることのないよう徹底させること。

4 建設から年月の経過した煙突施設等の点検の徹底

八代市の日本製紙の工場の煙突倒壊でも犠牲者が出た。定期的に点検はされていたものの、建設から 50 年以上経過しており、地震での倒壊についての新たな視点で、老朽化した高い設備について消防署等と連携しながら点検すること。

5 避難生活の長期化による災害関連死の予防

避難生活の長期化による体調悪化を視野に入れ、安心して生活できるための巡回医療、薬品供給、便秘防止のための食品・運動・トイレの整備、生活意欲を向上させる見守りやサロン等のソフト事業も含め、避難生活の充実を計ることができるよう計画をするとともに、支援機関・自治体の受け入れを検討すること。

6 アンダーパス等冠水危険箇所における事前通行止め基準の策定

千葉豪雨では冠水した道路での犠牲も生じたことを踏まえ、区内のアンダーパスをはじめとする冠水危険箇所について、記録的短時間大雨情報や大雨警報の発表段階で速やかに通行止めとする明確な運用基準を策定するとともに、冠水センサーや電光表示等による注意喚起設備の整備を進めること。あわせて、都道・国道に係る箇所については、東京都及び国に対し同様の運用を強く働きかけること。

7 出水期前における屋外危険物・流出物対策の定例的な周知

植木鉢、物置、プロパンガスボンベ等の屋外設置物は、氾濫・冠水時に流出して被害を拡大させるおそれがあることから、その固定・整理整頓を毎年出水期前に区報・SNS・町会回覧等あらゆる媒体を通じて区民に周知する取組を、単発の呼びかけにとどめず定例事業として制度化すること。

8 内水氾濫対策の総点検

時間100ミリを超える猛烈な雨により下水道の処理能力を超える内水氾濫が各地で発生したことを踏まえ、区内の雨水ます・側溝の緊急清掃を実施するとともに、止水板設置助成制度の拡充等、各家庭・事業所における浸水対策への支援を強化すること。

9 レベル4・5警報での避難行動・自動車での移動についての啓発の強化

今回の千葉豪雨では、冠水した道路で多くの自動車がエンジン停止のため乗り捨てられていた。中には車から脱出できずに命を落とした方もいた。避難の時期の啓発や自動車での移動について、また被災後の対応について今一度情報をまとめ、意識を持てるよう啓発すること。

10 浸水想定区域「外」の住民に対する啓発の強化

千葉豪雨では浸水被害の約半数がハザードマップ上の浸水想定区域の「外」で発生したと分析されている。想定区域外であっても浸水被害が発生し得ることを明示した啓発を強化するとともに、マイ・タイムラインの普及促進等を通じ、全ての区民が「自らの命は自らが守る」意識を持てるよう取り組むこと。

以 上